

はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙（季刊）
令和5年正月号
発行責任者
理事長 内田善久



明けましておめでとうございます

長引くコロナ禍の中、『自給』をテーマにご利用者様へ安全安心をお届けする取り組みを進めて参りました。本年も更なる最善を目指してチャレンジを続けて参りますので引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

（令和5年元旦撮影）



瑞宝双光章を授与されて

社会福祉法人報徳会評議員 守屋 篤



平成4年度秋の叙勲で、陸上自衛官として35年間勤務した実績に対して瑞宝双光章を拝領しました。これまでに褒章状や顕彰状等々を受章しましたが、このたび、陛下より授与されたものは、全く異次元のものであり、何とも言い表せない感慨を覚えます。この特別なものを携えて、防衛省での勲章伝達式、その後、皇居において天皇陛下に拝謁の栄誉を賜わるのが通例ですが、コロナ禍のため中止になりました。一生に一度の機会を逃し残念ですが、自衛官として勤務に専念できる環境を醸成してくれた家族、さらには、各種任務を遂行するにあたり、助言を与えてくれた上司、常に職責を全うしてくれた部下に、感謝する機会を授与されたのだと感じました。改めて35年を振り返れば、一人の部下も失わず、大きく傷つけることなく退官できたのは、日々訓練の賜物と思えますが、運を天に任せた瞬間もあり、おそらくは天におられる神様と、関りがあった方々に只々感謝あるのみ。

「夢に縁取られた明日を小さな靴に詰めて」

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉



《 眼は動き眉はしづかにマスクの上 山口 誓子 》
貼り付く仮面のようにマスク生活が続く私たちに三年越しの春。一九四六(昭和二十一年)に作られた句。坪内稔典はこう解説する。「コロナの流行で 季語・マスクは揺らいでいる。マスクが再び冬の季語として落ち着いたとき、私たちはコロナへの恐れから解放されるのかも」。(季語刻々) 一誓子の意趣に首肯して、心に納める。

《 コロナ禍を生きるは幸せならざれど 》

それさへ知らぬきみをかなしむ 永田 和宏 》

高名な細胞生物学者との二刀流、平成の与謝野晶子と称された妻河野裕子に紡ぐ挽歌にして相聞歌。現し世を映して、心に届く。

私事ながら『故旧忘れ得べき』高見 順の思いが募り甦った昨年。二月、職場を同じくして半世紀に届く程の親交の長倉英之が長逝。教え子の日本テレビアナウンサー藤井貴彦は「伝える言葉」の原点を導いて下さったと深謝で語る。「母校をたずねる」毎日新聞22.6.29

人形遣いに操られるように惹き付ける手筈、さり気なく飄然と進める手筈で唆す(人たらし)の振舞を思う。故旧 悪友にして畏友。

十月、藤井も言う「生徒がそれぞれの時間の流れを持っていった懐の深い高校」で遊び学んだ川島一成が急逝。昨春「はなさかの初夢」にも登場した我が3年B組の有り余る声を遍く聞き取る「人集め」の名手、和みの人。四十年來の相棒、文化祭「清吉神社」の宮司 山崎正浩、海外・案内人を担う萩谷英明等と早過ぎる旅立ちを口惜しむ。

十一月、年下なれど、我が(人生の羅針盤)盟友 川島勝が往く。

十二月、母 島田洋子身罷る。一方は、国語科の教師、ことばの力。東日本大震災の翌年から『春よ来い』との挨拶で、賀状を認めてきた私に、『強い夢は叶う』のさだまさしが来る『夢』を唱い、導く。

《夢に縁取られた明日を小さな靴に詰めて》(マヤコ) となら、各々のゴールポストを定め(一ミリの奇跡)の歩を進めよと。(敬称略)



はなさかの元日は毎年お汁粉で始まります。ユニットでは届いた年賀状を読みながら、甘いお汁粉で幸せいっぱい笑顔の花が咲きます。

年賀状とお汁粉



幅3尺の大獅子頭。お正月は玄関で邪気を寄せないように睨んでいます。



祝ご長寿

守屋 八重様 99歳

守屋八重様は昨年12月26日で99歳の白寿となりました。お話し好きでいつもユニットのお友達とおしゃべりを楽しんでいます。

新磯ざる菊まつり



『新磯ざる菊まつり』が今年も施設の向かい側で開催され、「平和」の文字が菊の花で見事に描かれました。地元で採れた新鮮な野菜の直売も好評で、沢山の方が訪れていました。

一月一日のお昼ごはんは、おせち料理です。赤いお魚や伊達巻、黒豆、栗きんとんなどのお料理に、お赤飯がついてとても華やかな重箱をご提供しています。

おせち料理



新しい機械浴槽導入
2階の特浴室に、車いすで入浴する新しい機械浴槽を導入しました。デイサービスのご利用者様も使用して頂いており、とても気持ちが良いと好評です。

スタッフ紹介

新ユニットリーダー

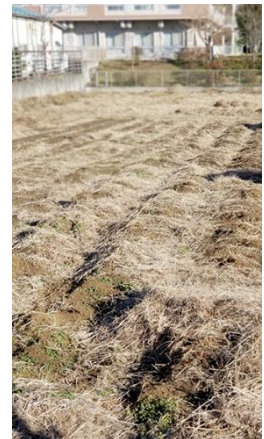


(左) 明星ユニット船橋璃菜リーダー、(右) 月光ユニット宮塚久子リーダーです。宜しくお願い致します。



餅つき保育室

職員の餅つきイベントで、保育室のお子さんもお餅つきをやりました。上手にできました。



はなさか農園 2023

畑はお休み期間中です。春に向けて土もひと休み。冬の間力を蓄えて、春先に向けて土づくりに入ります。今年もいろいろなお野菜を作っていきます！